

令和5年度

第1回学校運営協議会



令和5年5月15日(月)9:00より

浜松市立東小学校

1 次第

開会 開催要件（委員の過半数の出席）確認

＜司会：船越、記録：原＞

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 浜松市学校運営協議会規則・学校運営協議会自己評価について（教育委員会）

4 自己紹介

5 議長の選出（出席した委員の中から互選）

6 前回会議録確認

7 熟議 ＜議長：　　＞

（1）学校運営の基本方針について（校長）

（校長説明→質疑・応答→熟議→確認）

（2）東小いじめ防止基本方針について（校長）

（3）夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について（教頭）

8 報告

＜司会：船越＞

※学校支援CDからの活動報告等

9 連絡

（1）次回 令和5年6月14日（水）13：20～14：50 会場：会議室

（2）次回の熟議内容の確認

（3）次回の議長の選出

閉会

2 学校運営協議会委員

会長	小名木 秀雄	こなぎ ひでお
副会長	高木 邦子	たかぎ くにこ
委員	松下 克幸	まつした かつゆき
委員	今中 秀裕	いまなか ひでひろ
委員	中川 清子	なかがわ きよこ
委員	中村 将義	なかむら まさよし
委員	杉山 晴康	すぎやま はるやす
委員 学校支援コーディネーター	大脇 加名	おおわき かな
委員 学校支援コーディネーター	竹山 有希	たけやま ゆき

学校支援コーディネーター

古橋 陽介	ふるはし ようすけ
-------	-----------

◇学校

校長	大石 泰三	おおいし たいぞう
教頭	杉山 章子	すぎやま あきこ
C S担当教職員	船越 裕康	ふなこし ひろやす
C Sディレクター	原 真衣子	はら まいこ

◇浜松市教育委員会

教育総務課	鈴木 陽子	すずき ようこ
-------	-------	---------

3 年間計画

回	日時・会場	熟議テーマ	備考
1	令和5年 5月15日 月曜日 9:00~10:30 会議室	(1) 学校運営の基本方針について 確認 (2) 夢育やらまいかCS加算分についての意見 書について (3) 学校運営協議会の自己評価について (4) 学校運営協議会の支援について	
2	6月14日 水曜日 13:20~14:50 会議室	(1) キャリア教育を生かした特色ある学校づくり (2) 課題の整理と改善の方向性 (3) 学校評価アンケートの評価項目 ※PTA 参観会視察	
3	9月11日 月曜日 9:00~10:30 会議室	(1) 学校評価と課題の改善策について (2) 支援活動の具体化について	自己評価用紙の 配付
4	2月13日 火曜日 9:00~10:30 会議室	(1) 学校の自己評価 自己評価説明⇒改善策について熟議 ⇒次年度へ (2) 次年度学校運営の基本方針について 説明 熟議 承認 (3) 学校運営協議会の自己評価 (4) 夢育やらまいかCS加算分の報告	

《学校公開予定》

4月22日(土)	PTA参観会	9:00~9:45
5月19日(金)	ポプラっ子スポーツ大会	8:45~12:15
6月14日(水)	PTA参観会	13:20~14:05
10月19日(木)	PTA参観会	13:20~14:05
11月17日(金)	学習発表会	9:25~12:10
2月16日(金)	PTA参観会	13:20~14:05

《ピア・サポート活動》

5月25日(木)	10月26日(木)	1月25日(木)
※いずれも 9:20~12:05		

令和5年度 東小学校 学校経営方針

◇ 学校教育目標	やさしさ 元気 夢 いっぱい
◇ 目指す子供像	「やってみたい」と考え、動く子 ・「やさしい子」 …自他の良さがわかる子 ・「元気な子」 …自他の命を大切にする子 ・「進んで学習する子」 …自分の未来を思い描き努力する子

1 令和4年度を振り返って

- ◎チーム東小（協働） ◎新型コロナウイルス感染症予防対策 ◎キャリア教育
- ◎成績2期制への移行 ◎個への対応（発達支援教育） ◎生徒指導 ○いじめ防止
△けがの防止（落ち着いた生活）
- ◎学校行事等の見直し（運動会の半日開催、家庭確認の実施、面談時期の変更、学習発表会）
- ◎ICT教育の推進（○情報モラル教育） ○ピア・サポート ○道徳教育
- 情報発信（通信、ブログ等） ○授業研究・授業改善（学習指導要領）
- 働き方改革 ◎CS（コミュニティスクール）の立ち上げ

2 令和5年度への思い

全ての教育活動が、目指す子供の姿具現のため、そして学校教育目標達成のために

☆ With コロナのフェーズにおける諸活動の再開

- …過去3年間に及ぶコロナ禍での取組を踏まえた上で、子供たちの学びを止めないための、学校規模に応じた教育活動の立案、計画、実践を進める。
- ※子供たちにとっては、より教育効果が高く、教職員にとっては必要以上の労力を要しない方法やスタイルを求めていく。 例:スポーツ大会
- ※収束が見通せない中、感染対策とWithコロナのスタンスのバランスを

☆ いじめや不登校が生まれにくい、温かな学校・学級風土づくりを目指す

- …いじめは、どこでも起こりうるというスタンスに立ちながらも、いじめを未然防止するために「どの子にも居場所がある」「仲間から認めてもらえる」という安心感を醸成していく。
- ※心理的安全性が確保された学級づくり、ピア・サポート

☆ 新学習指導要領に沿った教育活動の充実

- …キャリア教育との関連性を整理して、各教科の特性を追求する。
- ※「社会とつながる学び」と「将来につながる表れ」の意味付け
切実感のある学習課題・学習内容→「やってみたい」
- ※「主体的・対話的で深い学び」「協働的な学び」「個別最適な学び」の視点からの授業改善
→心理的安全性が確保された学級づくり、ピア・サポート
- ※教科横断的な学習への挑戦
- …「教科担任制」を無理なく導入する。（できることを、できる範囲で）

☆ キャリア教育の推進（◎カリキュラムマネジメントを意識した計画と実践）

- … 児童の成長と変容を見通したカリキュラム編成
※分掌主任や担当責任者の意識改革
- … 特別活動を核とした年間指導計画の運用と修正
※特別活動の意義、価値を問う。（キャリア・パスポートの視点から）

☆ 地域とのつながりの見直し（保護者・地域とともに）

- … 「相互利益」が生まれる関係(Win-Win)にすることを目指して進める。
- … コミュニティスクールの活動は、子供の成長のために
- … これまでの「財産」の活用 → CSのコンセプトとのすり合わせ
※PTA、ボランティア、地域の人材等をどう活かすか。
- … 組織、担当の見直し、調整を進める。（あせらず、あわてず）

☆ タブレット等、教育機器の活用（教育の情報化）

- … 「どの活動で」「何に」「どこで」「どのように」使えるか。
※情報の共有・蓄積をする
- … 教育活動を効果的・効率的に進めるための「文房具」の1つとして活用していく。
- … 積極的な活用（アクセル）と情報モラル指導・情報インシデント対策（ブレーキ）の両方を重視していく

☆ 積極的な教育活動の発信

※発信状況の集約（重なりを抑え、継続的な形に）

- … 活動の意図、学校や教師の願い、子供の育ちを伝えていく。
- … 「地域に開かれた学校」を意識した活動の立案、展開、子供の見取り、評価、振り返り
→ 教師の力量アップに活かす。
（授業力、企画力、児童理解力、発信力、情報収集力 等）
- … 保護者の教育活動への理解を深め、信頼・信用につなげる。
※学年・学級だけでなく、分掌担当の視点で学校を見つめ発信を（教務、生徒指導、特活、道徳、教科主任 等）
※職員各自が、様々な形で児童の育成や学校運営に寄与している意識を高める。
※戦略的に、ブログ等を活用して、学校理解や地域家庭との協力体制を築いていく。

☆ 働き方改革の推進（早くても7時、遅くても7時）

- …短時間でより良い成果を上げる方法の探求をする。（計画性、協力体制、優先順位等）
※ただ、踏ん張るべき時、力を入れるべき時は、必要に応じて協力体制を整えながら、全力を注いで取り組む。

○ 外国語教育の充実

○ プログラミング教育の実施

3 令和5年度の目指す子供の姿・重点目標……

「見つめる力」と「かかわる力」の育成に重点を置き、

「やってみたい」と考え、動く子(目指す子供の姿)を

育むことを目指して

特別活動を要としたキャリア教育の推進と充実を図りながら

「知」「徳」「体」を関連付けた複合的なアプローチによる

教育活動を展開していく。

※「やってみたい」… 自分のために、誰かのために、みんなのために

※ みんな … 子供、教職員、保護者、地域の方々 等 (チーム東小)

学校生活では、

①自分から進んでする。②人のためになることをする。③好きなことをする。

◇一年間これだけはみんなで協力して推進しようという重点2つずつ

○ やさしい子

- ・ R3 心のこもった挨拶や返事をする。相手の気持ちを考えて行動する。
- ・ R4 相手の顔を見て、元気よく挨拶や返事をする。相手を思いやり、優しく接する。
- ・ R5 相手の顔を見て、時と場を考えた挨拶や返事をする。
互いの個性を認め合い、協力し合う。

○ 元気な子

- ・ R3 落ち着いた生活をする。目標に向かって、粘り強く運動する。
- ・ R4 落ち着いた生活をする。目標に向かって、あきらめないで運動する。
- ・ R5 自分の心と体をコントロールし、落ち着いた生活をする。
目標に向かって、あきらめないで運動する。

○ 進んで学習する子

- ・ R3 学習や生活で課題を発見し、主体的に解決しようとする。できたこと・できなかったことを、振り返ることができる。
- ・ R4 学習や生活で課題を発見し、主体的に解決しようとする。できたこと・できなかったことを振り返り、次に生かすことができる。
- ・ R5 目標を決めて学習に取り組み、振り返りをし、次の活動への意欲につなげる。相手の意見を最後まで聞き、自分の考えを深める。

4 教職員の心構え

◎教室が安心できる場となるよう、互いの存在を大切にし合える学級づくりを行う。

※誰もが全力で考え、全力で対話できる安心感→教室の心理的安全性

◎ 一人一人の良さや能力を引き出し、確実に子供を伸ばす教育をする。


※ 科学的に、論理的に、計画的に

※ 「いつ・どこで・だれを・なにで・どのように」伸ばすか？（「なぜ」の押さえも）

◎ カリキュラムマネジメントの視点から、自らの分掌や担当している活動の意義・役割を捉え、実践を進める。（見通し、振り返り、つながり）

※単独ではなく、様々な活動や学年、人とのつながりを意識して計画・実践する。

◎ 子供の特性やニーズを的確に捉えるとともに、保護者の思いや願いを踏まえて、個に寄り添う教育をする。※発達支援教育の理念を押さえて（共汗・共歓・共感）

◎ 「新学習指導要領の実践  キャリア教育の実践」を目指して、授業改善に取り組む。（たゆまぬ自己改革）

※ 特別活動（総合的な学習の時間）を核に据えた教科横断的な学習への挑戦

※ 「どこまでつなげて見通しが立てられるか」がカギ。

※ キャリア教育を前面に押し出した取組と教科学習にキャリアの視点からアプローチを仕掛ける取組を意識。

※ 学級単位における特別活動の意義、価値の確認（キャリア・パスポートを意識）

○ ICT を活用して、教育の情報化とともに質の高い教育を目指す。

※ Google classroom の効果的な活用

※ プログラミング学習の実践

※ 計画的な情報モラル教育の推進

令和5年度 浜松市立東小学校 グランドデザイン

学習指導要領

- ★社会に開かれた教育課程
- ★生きる力の育成
- ★資質・能力の三つの柱
- ★主体的・対話的で深い学び
- ★カリキュラム・マネジメント

第3次浜松市教育総合計画(後期)「はままつ人づくり未来プラン」

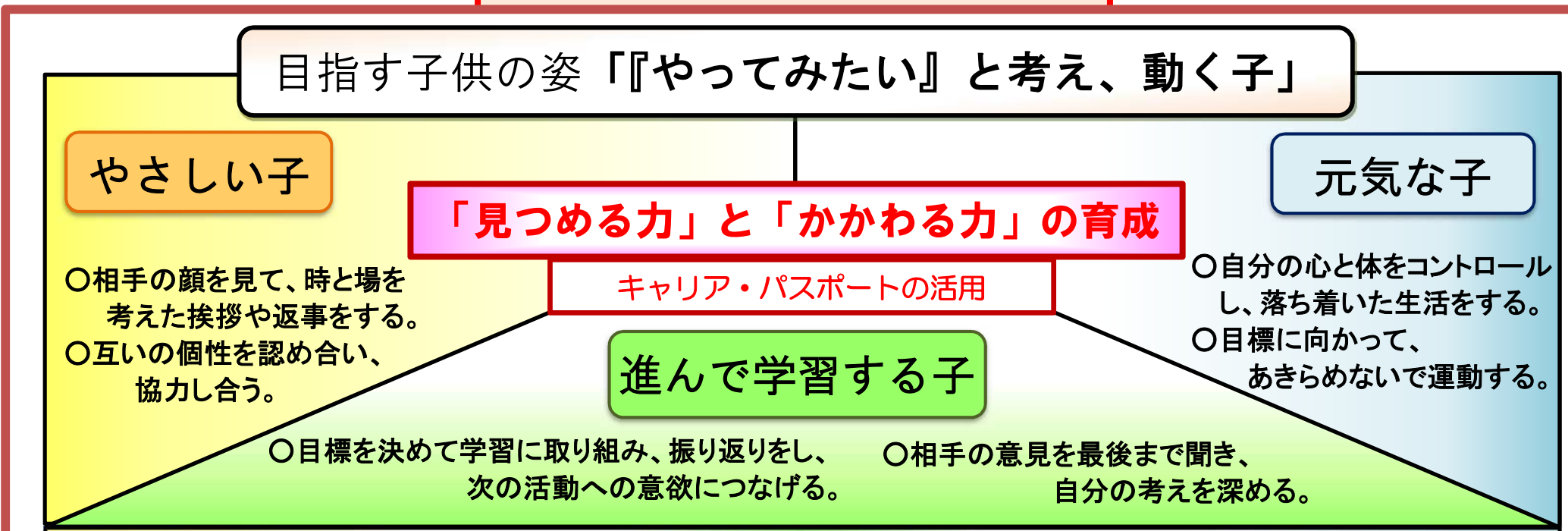
- ★未来創造への人づくり
- ★市民協働による人づくり

- 自分らしさを大切にする子供
- 夢と希望を持ち続ける子供
- これからの社会に生き抜くための資質・能力を育む子供

▶キャリア教育を核とした人づくりの推進
▶コミュニティ・スクール
▶教育の情報化

八幡中学校区で目指す子供の姿
夢と希望をもち、たくましく生きる子供

◆学校教育目標 **やさしさ 元気 夢 いっぱい**



特別活動を要としたキャリア教育の推進と充実

目指す学校の姿

- 安全・安心な生活が送れる学校
 - ・危機管理の徹底(健康安全/防災/防犯/情報)
- チームの力で着実に前進する学校
 - ・確かな情報共有と互いの強みを生かす役割分担
- 地域とともに歩む学校
 - ・社会に開かれた教育課程の具現化
 - ・コミュニティ・スクールの充実

目指す教師の姿

- 心理的安全性が確保された学級を目指す
 - ・子供たち一人一人の良さを見つけ、伸ばす教師
 - ・傾聴して認め、褒め、相手の思いに寄り添う教師
 - ・よりよい支援・指導の在り方を模索し、ともに高めあう教師

- 授業改善
- ピア・サポート

いじめや不登校の生まれにくい温かな学校・学級風土づくり

保護者の願い

地域の願い

- コミュニケーション力
 - ・自分を伝える力
 - ・相手を思いやる心
- 自分の力で問題を解決する力
 - ・集中力
 - ・創造性



(様式1)

令和5年5月15日

浜松市立東小学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 鈴木 格徳 様

浜松市立東小学校運営協議会
会長 小名木 秀雄

夢育やらまいか事業に対する意見書(案)

令和5年5月15日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

子供の主体性をはぐくむために、体験活動を充実させるべきである。

⇒ 子供たちが地域に出て、地域の施設等で体験活動を行う機会を設定する。

⇒ 地域の達人等を講師として招聘し、体験学習を行う機会を設定する。